

静岡県立浜松湖北高等学校学校運営協議会令和5年度 第4回会議（議事録）

- 1 日 時 令和6年2月14日（水）午前9時00分～11時00分
- 2 場 所 本校会議室
- 3 出席者 森脇一郎（委員長）・ 荘司哲・高木信哉・春名季和・山村行弘（敬称略）
（校内） 大澤貢（校長）・加藤剛史（副校長）
竹内正明（教頭）・池谷悦男（事務長）

4 内 容

(1) 校長挨拶

近況報告

(2) 議事

ア 令和5年度学校経営報告書自己評価（案）及び学校関係者評価について

【基礎・基本の確実な定着と個に応じた指導の充実】

- ・ICT活用より、まず基礎学力を付けることが大事だと考える。繰り返し学習しなければ、基礎は身に付かない。「家庭学習時間一日平均45分以上」とあるが、45分程度で何を学べるか甚だ疑問である。

【望ましい勤労観・職業観の育成と主体的に自己実現を図る力の育成】

- ・進路は学校が与えてくれるものではなく、自分で切り拓くものであることを生徒に理解させる必要があると思う。
- ・高卒者の就職は売り手市場であるが、就職希望者への進路先は出来る限り、マッチングする指導方法をお願いする。

【基本的生活習慣の確立と規範意識の醸成】

- ・時間は自分のものだけではなく、同じ授業を受ける同級生や先生のものでもある。高校卒業後、社会に出る生徒が多い学校なので、時間を守ることは大切だと分かってもらいたい。そのためにも始業時間にはきちんと始められるような指導をお願いしたい。
- ・今後、学校西側にミニバイパスができると車の通り道が変化する可能性があるなので、安全対策をお願いしたい。

→交通指導員の配置場所の見直し等を含め、検討していく。

【家庭・地域社会と連携した、開かれた学校づくりの推進】

- ・クマップふれあいカフェがコロナの影響で中止になってしまったのは、残念である。この地域のお年寄りや若者との触れ合いを楽しみにしているので、ぜひ再開することを期待する。

【学校行事と部活動の活性化】

- ・「部活動が楽しい」と答える生徒とあるが、部活動は楽しいだけではなく、苦しい場面もあるはずであるので、「部活動が充実している」と文言を変えたらどうか。

【読書活動の推進と読書習慣の定着】

- ・高校時代から読書が好きになった。文字に表れていない行間を想像することが大切だと感じる。

・ぜひ一度ビブリオバトルを見てみたいと思います。

【安心・安全で活気ある学校生活を送るための教育環境の整備】

・成果目標「年3回以上の校内防災訓練、生徒自主防災訓練を実施。」の自己評価がどうしてBになっているのか。

→担当者から、年3回以上校内防災訓練を行っており、目標回数は達成しているが、生徒の地域防災訓練への参加率が低かったため、Bとしたと聞いている。

・「学校に困ったことや悩みごとを相談できる人がいる」と回答した生徒が90%以上おり、とても良いことだと思うが、困りごとを相談できる人は学校以外にいてもいいと思う。

→学校としては、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、医療機関等の外部機関へつなげる支援を行っている。

【教職員の資質・能力の向上】

・ICTを活用することが目的ではなく、業務改善や授業の質向上の手段としてICTを活用すればよいと思います。ICTを使うことで、先生方の負担が増えるようなら本末転倒だと思います。

【教職員の業務の改善】

・先生に余裕がなければ良い教育ができないと考えるため、教員の業務は可能な限りスリム化する必要があると思います。

・学校として、ペーパーレス化は今後ますます進んでいくのか。

→県教育委員会からもペーパーレス化の推進は促されているので、ますますペーパーレス化は進んでいくと思われる。

(3) 本校の近況

(4) 連絡事項他

・令和6年度の学校運営協議会委員について

5 資 料

資料1 令和5年度学校経営計画

資料2 令和5年度学校経営報告書学校関係者評価（2/14案）

資料3 令和5年度学校経営報告書自己評価（暫定案）

資料4 学校評価アンケート結果（生徒・保護者）

参考 静岡県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則・要綱